

ヤマト・天理の歴史文化の魅力を発見!

プロジェクト 2 ヤマトをめぐる文化遺産を学ぶ

連続講座「ヤマトの歴史絵巻」

全6回 2019年9月～2020年2月

講演：13:30～15:00 会場：天理参考館研修室

各回定員100名 <参加無料>：当日先着順

※開場13:00 ※12:00より1階受付にて入場整理券(お一人につき1枚)を配布します。

- | | |
|--|--|
| <p>第1回
9/13
金</p> <p>出自と居住をめぐる集団像と大和弥生社会
—平等坊・岩室遺跡を絡めて—
川部浩司 (斎宮歴史博物館 主査)</p> | <p>第4回
12/13
金</p> <p>古墳時代における大和地域の渡来系集団の実像
—盆地東部の朝鮮半島系資料を中心に—
井上主税 (関西大学 准教授)</p> |
| <p>第2回
10/12
土</p> <p>銅鐸から見た大和の弥生社会
—天理市内出土の銅鐸を中心に—
北井利幸 (奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 学芸課 主任学芸員)</p> | <p>第5回
1/17
金</p> <p>古墳の副葬品からみた被葬者像
—藤ノ木古墳の事例を中心に—
玉城一枝 (奈良芸術短期大学 非常勤講師)</p> |
| <p>第3回
11/8
金</p> <p>国内最大の円墳・富雄丸山古墳を
めぐる諸問題
鐘方正樹 (奈良市埋蔵文化財調査センター 所長補佐)</p> | <p>第6回
2/14
金</p> <p>寺口忍海古墳群の造営集団
—葛城の例から考える、大和の群集墳—
神庭 滋 (葛城市歴史博物館 館長補佐)</p> |

プロジェクト 3 ヤマトの文化遺産をめぐる

歴史ウォーク ～バスで訪ねる文化遺産～

「大和の中のヤマト —大和の古代豪族—」

全2回 2019年9月・11月

開始/9時30分 現地バス出発/16時頃 参考館着/17時頃

参加費/1,000円(交通費) 定員/49名(先着順) 携行品/弁当(昼食)、飲み物、筆記具、雨具など

雨天中止/7時決定(開催地に警報発令中) ※都合により、予定を変更する場合があります。



- | | |
|---|--|
| <p>第1回
9/14
土</p> <p>受付開始：2019年8月21日(水)～</p> <p>ワニ氏と葛城氏の本拠地
講師：青柳泰介 (奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 学芸係長)</p> <p>【徒歩約5km】 ⇒バス ⇒徒歩
天理参考館(集合) ⇒ 樺本高塚遺跡 → 和爾坐赤坂比古神社 → 和珥坂下伝承地 → 和爾遺跡 ⇒ 天理参考館(見学、昼食) ⇒ 南郷遺跡群(極楽寺ヒビキ遺跡・南郷安田遺跡ほか) ⇒ 天理駅 ⇒ 天理参考館(解散)</p> <p><small>赤土山古墳と葛城</small></p> | <p>第2回
11/16
土</p> <p>受付開始：2019年10月16日(水)～</p> <p>ワニ氏と蘇我氏の本拠地
講師：石田由紀子(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 研究員)
池田保信(埋蔵文化財天理教調査団 主任)</p> <p>【徒歩約5km】 ⇒バス ⇒徒歩
天理参考館(集合) ⇒ 樺本高塚遺跡 → 和爾坐赤坂比古神社 → 和珥坂下伝承地 → 和爾遺跡 ⇒ 天理参考館(見学、昼食) ⇒ 飛鳥[甘樫丘 → 飛鳥寺(首塚)] ⇒ 明日香村埋蔵文化財展示室 ⇒ 山田寺 ⇒ 天理駅 ⇒ 天理参考館(解散)</p> <p><small>甘樫丘</small></p> |
|---|--|

申込方法 FAX 0743-63-7721 (天理参考館) または
メール info@kanko-tenri.jp (天理市観光協会)

申込記載 イベント名・名前(ふりがな)・住所・連絡先

受付開始時間 各受付開始日の午前8時30分～(申込は平日のみ)

お問合せ先
天理市観光協会 (天理市産業振興館内)
TEL 0743-63-1242
https://kanko-tenri.jp/